

女子的☆キャリア図鑑3

豊田 愛さん「セブンイレブン店長」

上柳直美さん「営業事務(株)アイ・プロード」

「仕事と家庭の両立」

2017.1.25

仕事に就くまでの経緯

【豊田さん】 セブンイレブン厚原店長

高校を卒業し東京の専門学校へ通う時に新富士駅近くでバイト先を探した。セブンイレブンの横割店で勤めることになり四年間アルバイトを続けた。卒業後二年間会社で働いたが退職し、その後、縁あった横割店のアルバイトに戻った。結婚をしたがそのままパートとして勤める事になった。子供が出来三年間は産休として休んだがすぐに職場復帰した。その後二号店を厚原で始める話が進んできた。実家が厚原にあることでオーナーから『店長をやってみないか』と打診があり引き受けた。当初、人見知りだったが接客が楽しくなり、商品のポップを自分で作る中で売り上げが伸びたの喜びを知り、それに目をかけてくれたオーナーのおかげである。アルバイト上がりの店長を続け六年になっている。

【上柳さん】 人材派遣株式会社アイ・プロード

清水出身で清水商業高校を卒業。九年間事務員として勤めた。結婚をし、出産ギリギリまで勤務した。子供と二人だけで家にいると、社会から置いていかれる感じがしたので働きたいと考えた。十二月に産後翌年の九月には主人の経営する会社に勤めることになった。働きながら自分がやりたい仕事を探そうと考えていた。面白工種として、人材派遣の仕事であるが当日頼んだ人が来なくて、主人と二人でその仕事場に行き、頼まれた時間、働いたことがある。事務のワケだけではなくあらゆる分野で柔軟に働くことに新鮮さを感じた。現在十二年目になる。

仕事と家計の両立について

【豊田】 自分のコン

ビ二店は三百六十五日、二十四時間営業で、女性ならではの目線の経営も心がけている。近年様々な業務も増え、恵方巻など季節に合わせた取り組みが増えてきている。店長として今まで、お店が忙しくて、クリスマス家族と一緒に過ごしたことがなかった。家族は自分の忙しさを分かってくれているだろうと勝手に思っていたが、旦那さんに言われ、娘が中三になって初めて家族でクリスマス会を行った。とても喜んでくれ嬉しかった。自分の女性店長としての色々な悩みは、同じ境遇にある方々とのフェイスブックつながりで相談し解決を図っている。



【上柳】 三人の子供をもつ、洗濯機を回す回数が増えるなど多忙さから感情的になってしまいうこともあった。そんな自分を何とかしたいと「子育てセミナー」に参加した。自分で自分を忙しくしていることで自己満足し、子供をちゃんと見られなかったことの悪循環に気づいた。非言語のコミュニケーションが足りなかったことに気づくことができ、子供への接し方を考え自分を客観的に振り返るいい機会となった。



子供を預けることで悩んだこと

【豊田】 娘を授かったが近所には友人もいず、公園を色々さまよっていた。早く仕事に戻ろうとしたときに三歳の子供を保育園に預けていいかわからずとも迷った。お店への通勤経路の園を全て見学に行く

などした。悩みに悩んだが、親と同居の二世帯住宅で自分が外に出ていった方が家庭とのバランスが取れると判断し職場復帰をした。悩んだけれど結果的に娘にも自分にも友人が出来て良かった。

【上柳】 子どもは三人とも0歳児で保育園に入れた。短い時間でも子供一人一人との濃いふれあいがあれば何も問題がないと思った。長女には朝、ハイタッチをすることで、体調や心の動きを細かく知ることができた。下の子は保育園での別れ際、納得するまで抱きしめ続けてあげた。自分は、子供との関係でどこまで母親に甘えればいいのか悩んだこともあった。しかし色々なことを話すことによって母親のサイクルを知り色々な協力をしてもらった。自分の行動の一つ一つは、今までの経験から判断し、良かれと思ってなされるはずなので全てOKを出している。

社会復帰をし、これまでに振り返って

【豊田】 店長としてここまで出来てきたのは、お店の近くにある実家や親、理解ある旦那さんなどの恵まれた環境があったのが大きかった。一番思うのは産休中の三年間より現在のほうが、自分自身の時間のやりくりや使い方が上手になり、自分のための時間も生み出せるようになったことである。

【上柳】 自分自身、常に仕事を通して働く楽しさや生きがいや伝えようとしてきた。イベント等を発信したり、その活動をするところによって、自分を支援してくれる人が増えてきたことが一番である。フェイスブック等で多くの方が様々な助言やコメントをしてくれるのがありがたいし、自分の喜びになっている。

若者のためのキャリアデザイン支援室

fきゃる

TEL/FAX:0545-32-6958

協力 株式会社アイ・プロード

若者のための
キャリアデザイン
支援室
fきゃる